

平成30年11月2日(金)

新採用研修における講義

本日は、教育センターで新採用研修の講義です。

新採用二次研修「これからの教員に望むこと」

平成30年11月2日

福島県教育センター

阿部武彦

1 教科指導と生徒指導は車の両輪である。

①教科指導に努めているか。

学習指導要領の改訂について理解と習得を図っているか。

アクティブ・ラーニングの手法は身についたか。

生徒は興味関心をもって自分の授業を聞いているか。寝ていないか。

見通しをもって知識・技能の構築を図れているか。

思考力・判断力・表現力を相対的に高めていく方法を伝授しているか。

主体的・共同的な学びを構築できるような学習を見通しているか。

学習評価の観点について思いをはせているか。

一人一人の資質能力の育成を図っているか。

学問の不易と流行について哲学を持って対応できているか。

先達の教えを乞うているか。

②生徒指導のノウハウは高まっているか。

生徒の成り立ちと今の在り方について、きちんと周囲と共有できているか。

様々な面について情報を得て、指導の方針を作っているか。

自分の存在について理解させ、同調させる努力をしているか。

根底でつながれるきちんとした思いを語っているか。

生涯の中での位置づけと、今の時点での位置づけを理解させているか。

様々な特質について理解し、情報を得る努力をしているか。

毎日の声掛けについて連動した指導を周囲と協力して行っているか。

保健室やSCおよび管理職と情報を共有しているか。

年齢とともに必要な指導段階を感じているか。

2 10年後、20年後に向けて種をまけ。

①使命感、情熱、行動（ミッション、パッション、アクション）

生徒の10年後、20年後を生かす教育を構築すること＝自分の10年後、20年後を構築すること

様々な人脈を作っていくことが宝となる。

学校内、学校外の人々との連携を大切に。

チームワーク、ネットワーク、フットワーク、ルーティンワーク、フィードバックを日々の糧とする。

自分にできるところから進めていくこと。友人を増やすこと。

教員目線ではなく生徒目線で考える教師に。

②バランス感覚、責任感、哲学

毎日本を読むこと。読後資料（メモ）を作ること。

新聞を読むこと。切り抜きを積み重ねること。

日記を書くこと。健康を意識すること。

街を知ること。土地を知ること。生活を知ること。

生徒と話すこと。自分が大切にしていることを教えること。

いくつもの時代があり、いくつもの時代に向けて生きていくことを生徒と共有すること。

課題意識を持つこと。

違う時代や、違う土地のことと比較して重要点を導き出すこと。

解がない課題を持ち続けること。

人のいいところをまねる。悪いところを胸に刻む。

3 慌てず焦らずあきらめず明日を信じる。

磐城高校ホームページを読んでください。